

隊友 船橋だより

平成27年1月号

発行：千葉県隊友会 船橋支部事務局

船橋支部長年頭の辞

年頭にあたり平成27年における我が国の弥栄を祈りつつ御挨拶を申し上げます。

国内的には地震・火山の活動活発化、異常気象等による災害多発が予想されるため、現職自衛隊員や予備自衛官そして隊友などの働きが大きく求められると推察出来る状況であるとともに、国際的には隣国との関係や集団的自衛権における自衛隊の地位役割の益々の増大が見積もられます。私は昭和30年すなわちサンフランシスコ講和条約発効から3年後に生まれましたので、63年間の自衛隊の歴史とほぼ同じく生きてまいりました。すなわち我が国再興の歴史とともに自分の歴史があります。今年は還暦を迎える年であり新たな思いで自衛隊に対し協力していこうと思います。そこで隊友船橋支部の皆様と祖国の礎となられた英霊に対し感謝の意をささげるとともに、現役隊員を一層強力に支援していこうではありませんか。我が国の弥栄には高い志が不可欠であると思料しますので、私どもの次の世代が平和で安全に暮らせるよう年頭にあたり会員相互に協力をお願いし年頭のご挨拶といたします。

千葉県隊友会船橋支部の会員皆様様が御健勝で御活躍されんことを祈念申し上げますとともに、支部の益々の隆昌を祈念します。（隊友会船橋支部長森良雄）

千葉県隊友会船橋支部役員

北部地区担当常任理事 丸山光則

小室・豊富副会長 青木俊和

大穴分会長 羽田行雄

高根分会長 窪洋之右

東部地区担当常任理事兼て習志野副分会長

習志野分会長 藤久保實

薬田台副分会長 高橋満人

二宮・飯山満分会長 村山金三郎

前原分会長 小貫正巳

三山・田喜野井分会長 渡邊實

行田・夏見分会長 小倉利之

会計幹事兼て海神分会長 中西孝男

中山分会長 星義雄

相談役 小林正信

顧問 樋口隆保

監査役 神谷功

顧問 田中賢一

顧問 酒井英元

小室・豊富分会長 河野正信

二和・咲が丘分会長 木村義忠

副支部長兼て松が丘・坪井分会長 門脇茂

高根副分会長 築山正

堀内紀喜

薬田台分会長 瀧健治

西習志野分会長 七瀬谷重雄

二宮・飯山満副分会長 石井勝之

前原副分会長 谷原末吉

西部地区担当常任理事 内田貞勝

宮本・本町分会長 亀田秀治

海神副分会長 氏家英夫

事務局長 岡本勉

顧問 川口豊

顧問 井本敏夫

顧問 谷脇憲司

隊友会船橋支部の皆様、新年あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましてはご家族とともに輝かしい新年をお迎えのことと謹んでお喜び申し上げます。昨年は、千葉県隊友会の事業にも積極的に参加すると共に、支部独自の活動と致しまして、「会員と市民の参加を得て富士総合火力演習観覧」、一昨年から毎月「習志野駐屯地での隊友新聞の折込み作業と分会長等会議」を自転車や自家用車、電車バスなどによって参加して頂きました。更には公益事業と致しまして「地域の慰霊祭行事、陸上競技会、武道大会、青少年育成活動、学童通学安全誘導、防犯パトロール」等の支援や参加をして頂いているところでございます。これも諸先輩方のご指導と、ご高配の賜物と感謝申し上げますと共に、本年も引き続きよろしくお願い申し上げます。

今年は、千葉県隊友会が創設されてから56年目、船橋では昭和33年空挺団が編成完結した翌年です。隊友会は「市民と自衛隊とのかけ橋」として存在していますが、「幅が広く激流にかける橋、やさしく容易にかけることができる橋など」様々です。

どこにどのような橋をかければ未来に通じるかけ橋にできるのでしょうか？

かけ橋の手段といたしまして、自衛隊の3大行事であります「中央観閲式、富士総合火力演習、音楽祭」には市民の参加ができる努力を、習志野駐屯地においては「降下訓練始め、駐屯地創立記念日、夏祭り盆踊り大会」への積極的な参加を継続して参りたいと存じております。また、海上自衛隊OBの方には陸上自衛隊駐屯地への入門証が承認されるよう努力して参りたいと考えております。4年目となった「公益社団法人」隊友会、公益事業の要となる「災害ボランティア活動」のための「千葉県隊友会」と銘がついたヘルメットや作業服を受領していますが、幸い災害はなく、家の隅に隠れております。あの忌まわしい東日本大地震から4年、阪神大地震からは20年が経過致しました。今度は、南海トラフ巨大地震や首都直地震など日本の根幹を揺るがす危難も切迫していることは誰もが認識しているところですが「想定したくない」が本音でしょう。しかしながら現職自衛隊は、あらゆる想定においても達成しなければならないという任務があり、あらゆる思考を凝らし、訓練を繰り返しております。このような精神が理解できるのは、隊友会のみではないでしょうか。現在の隊友会には、実効が期待される時代へと移行しております。厳しい激流の河川にも頑強で未来に通じるようなかけ橋をかけるため」支部諸先輩の方々のご指導を仰ぎつつ活動が継続出来るよう祈念し、新年のご挨拶と致します。

（門脇茂副支部長）